

④曾我川

i 整備方針

【環境・景観】中流部の檀原市付近は新沢千塚を中心とした古墳群と貝吹山を主峰とする森林・丘陵により形成される景観が残されており、貝吹山景観保全地区に指定されている。このため、整備にあたっては、川沿いの景観と調和した整備に努めるとともに、みお筋の形成や水際の植生の回復に努める。水質については、小柳橋付近、曾我川橋付近、東橋付近では環境基準を満たしているが、下流の保橋付近では環境基準を満たしていないため、今後も引き続き、地域とともに河川美化啓発活動等を推進し河川環境の改善に努める。

【利用・利水】檀原市曲川町に整備した曾我川治水緑地については、関係自治体や地域住民と連携し適切な維持管理を図る。また、取水施設や取水量の把握に努め、継続的に水質や水量の把握に努める。

【治水】檀原市及び御所市を中心とする地域の浸水被害を軽減するため、洪水を安全に流下させる能力が不足する区間のうち、ハブ井堰までの区間について下流より計画的に河道改修を進める。また、上流部については、浸水被害が発生している状況を踏まえ、浸水被害の早期解消に向け、調査・検討を行い軽減策を講じる。

さらに、支川の小金打川の浸水被害軽減のため、小金打川合流点付近から下流の区間の河床掘削についても計画的に実施する。

ii 河川工事の目的

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨の洪水を安全に流下させるとともに生物の生息環境を保全し、川沿いの土地利用に配慮した良好な水辺のオープンスペースを提供する。

iii 河川工事の種類

現況の河道法線をもとに、河道断面の拡大(拡幅・河床掘削)を行う。

iv 河川工事の施行の場所

広陵町百済地内から大和高田市松塚地内

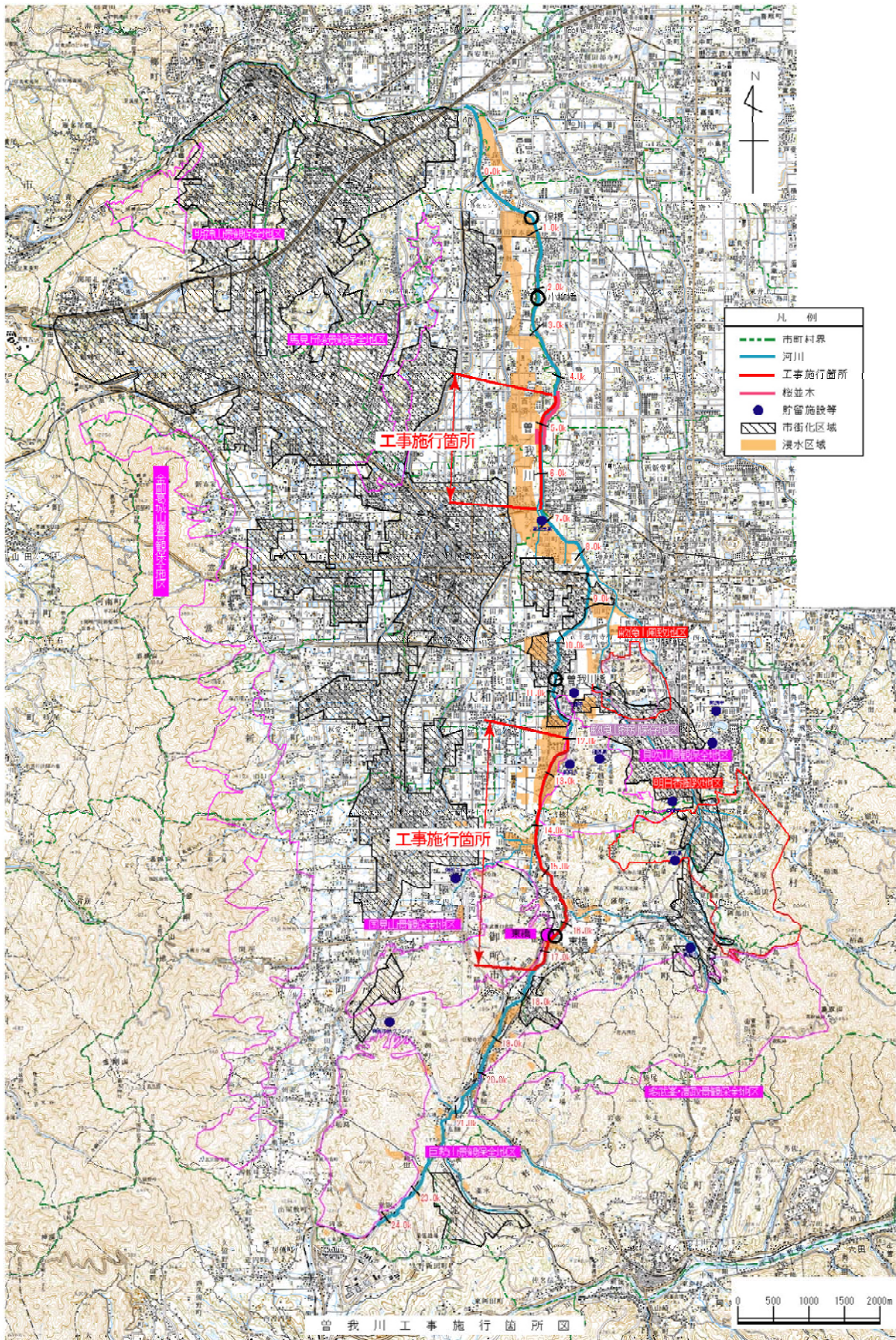
(下流から6.5km地点から小金打川合流点まで約2,000m 河床掘削)

檀原市川西町地内から御所市戸毛地内

(千塚橋からハブ井堰まで約5,300m 河道拡幅・河床掘削)

施行区間内の主な既存工作物

橋 梁	20 橋
取 水 堰	9 基



※浸水区域は、過去の主要洪水による浸水実績を重ね合わせたものです。